

自分を受け入れ自分を認め、一步踏み出す

「キキ」の魅力と「自己肯定感」

最近の調査では、日本の若者は自己肯定感が諸外国に比べてかなり低く、特に女性はその傾向が顕著と指摘されています。将来の日本を担う若者の自己肯定感が低いのはどうしてなのでしょう。

基調講演では、国際アンデルセン賞受賞作家角野栄子氏から、『魔女の宅急便』のヒロイン、自己肯定感の高いキキに託された思いを伺います。

また、多様な分野で活躍するパネリストの方々のご意見をもとに、私たちが自分を受け入れ認め、一步踏み出すために何が必要かを考えます。

日時

平成30年**12月1日(土)** 14:00~16:30 (開場 13:30)

※当日は受付が混雑する可能性があります。時間に余裕を持ってご来場ください。

会場

津田塾大学(千駄ヶ谷キャンパス) 広瀬記念ホール(SA305教室)
東京都渋谷区千駄ヶ谷1丁目18-24

定員

270名(先着順)

参加費

無料

申込
締切

11/23(金)

手話通訳を希望の方は **11/16(金)**

プログラム

※50音順

基調講演 14:05~14:50

《 キキの物語 》



かどの えいこ
角野 栄子氏
作家・「魔女の宅急便」シリーズ著者

鼎 談 15:05~16:25

《 自己肯定感をはぐくむには 》



うみはら じゅんこ
海原 純子氏
日本医科大学特任教授
医学博士・エッセイスト



ばんどう まりこ
坂東 眞理子氏
昭和女子大学理事長・総長



まつもと あきら
松本 晃氏
RIZAPグループ株式会社
代表取締役

主催／内閣府、男女共同参画推進連携会議、公益社団法人ガールスカウト日本連盟、一般社団法人大学女性協会
特定非営利活動法人国連ウィメン日本協会

後援／公益社団法人経済同友会、独立行政法人国際協力機構(JICA)、津田塾大学、UN Women日本事務所
国連ウィメン日本協会北九州、国連ウィメン日本協会大阪、国連ウィメン日本協会よこはま、国連ウィメン日本協会東京
国連ウィメン日本協会さくら



内閣府

男女共同参画推進連携会議



公益社団法人
ガールスカウト日本連盟



一般社団法人
大学女性協会

UN WOMEN
NATIONAL COMMITTEE
JAPAN

角野 栄子氏(かどの えいこ)

東京都に生まれる。早稲田大学教育学部卒業。1959年にブラジルに移住し、2年間滞在。帰国後、サンパウロの少年を描いた『ルイジニョ少年、ブラジルをたずねて』(1970年ノンフィクション)を出版、作家デビュー。その後、童話や絵本の創作を始める。『わたしのママはしずかさん』(偕成社)『ズボン船長さんの話』(福音館書店)で路傍の石文学賞。『魔女の宅急便』(1985年福音館書店)で野間児童文芸賞、小学館文学賞、IBBYオナーリスト文学賞などを受賞。『魔女の宅急便』は、その後シリーズ化し、2009年10月『魔女の宅急便 その6 それぞれの旅立ち』で完結した。またこの作品は、1989年のアニメ映画、1993年のミュージカル、2014年の実写映画、2016年のロンドンでの舞台、2017年からのミュージカルと数々の形態で親しまれている。

作品はほかにロングセラーの「アッチ、コッチ、ソッチの小さなおぼけシリーズ」、自選童話集『角野栄子のちいさなどうわたち(全6巻)』(以上ポプラ社)、エッセイ『ファンタジーが生まれるとき』(岩波書店)、自伝的小説『ラストラン』(角川書店)、『ナードという名の少女』(角川書店)などがある。

近年の作品としては、2015年の『トンネルの森 1945』(角川書店 2016年度産経児童出版文化賞)、最新刊『キキが出会った人びと〜魔女の宅急便特別編』『キキとジジ〜魔女の宅急便特別編その2』(福音館書店)がある。

また、それまでの業績に対して、2000年に紫綬褒章、2011年に巖谷小波文芸賞、2013年には東燃ゼネラル児童文化賞、2014年旭日小綬章、2018年国際アンデルセン賞作品賞を与えられた。

〈 UN Women とは 〉

ジェンダー平等と女性のエンパワーメントのための国連機関です。困難な状況の女性と少女に焦点をあて、自立支援、難民女性などへの人道支援、女性に対する暴力の根絶などを優先課題に、様々なプログラムを世界で実施し、問題解決に取り組んでいます。

〈 国連ウィメン日本協会とは 〉

UN Womenの活動を支える日本の公式支援窓口です。世界の女性と少女が能力を発揮し、ひとりひとりの可能性を開き、希望の未来を手にする社会の実現をめざして、UN Womenが世界の約195か国で実施する様々なプログラムを支援するために、募金・広報活動を行っています。

海原 純子氏(うみはら じゅんこ)

日本医科大学特任教授・医学博士・エッセイスト

東京慈恵会医科大学卒業、ハーバード大学客員研究員を経て日本医科大学特任教授、昭和女子大学特命教授。

被災地の調査論文で平成28年度日本ストレス学会・学会賞を受賞。毎日新聞・日曜版「新・心のサブリ」、連載中。近著に『今日一日がちいさな一生』『男はなぜこんなに苦しいのか』。

坂東 真理子氏(ばんどう まりこ)

昭和女子大学 理事長・総長

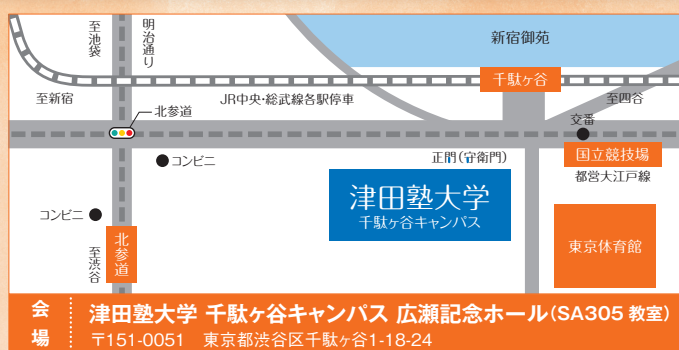
富山県生まれ。1969年東京大学卒業、総理府入府。

1995年埼玉県副知事、1998年プリズベン総領事、2001年内閣府男女共同参画局長。2004年昭和女子大学・女性文化研究所長、2007年同大学学長、2014年同大学理事長、2016年同大学総長、現在に至る。著書『女性の品格』『日本の女性政策』『女性リーダー4.0』など多数。

松本 晃氏(まつもと あきら)

RIZAPグループ株式会社代表取締役

京都大学農学部卒業、京都大学大学院農学研究科修士課程修了。1972年伊藤忠商事入社、センチュリーメディカルに出向、1993年ジョンソン・エンド・ジョンソンメディカル代表取締役、1999年ジョンソン・エンド・ジョンソン代表取締役社長・最高顧問、2009年カルビー代表取締役役会長兼CEO、2018年6月RIZAPグループ代表取締役、カルビー シニアチーフマン。



アクセス
● JR総武線・中央線 千駄ヶ谷駅下車、徒歩約1分
● 都営地下鉄大江戸線 国立競技場駅下車、A4出口より徒歩約1分
● 東京メトロ副都心線 北参道駅下車、徒歩約10分

参加申込方法 応募フォーム・FAXにてお申し込みください。

1

WEBでのお申込み(下記の専用応募フォームより申してください。)

<http://maluto.biz/unw>

*応募フォームよりご入力頂いたメールアドレスに、自動返信にて参加受付登録のメールをお送りいたします。当日は、受付登録のメールをプリントアウトしたものをお持ちください。

*携帯電話又はスマートフォンからお申し込みされる場合でメールアドレス指定受信を設定されている方は、i-danjo@maluto.bizが受信できるように予め設定をお願いします。



▲応募はこちら

2

FAXでのお申込み FAX番号:03-5776-0379

下記の申込書の必要項目をご記入の上、送信してください。

*受付完了後、受領印を押印のうえ、返信します。当日は、本参加証をお持ちください。

【お問い合わせ先】TEL:03-5776-0376 イベント事務局(株式会社マルト内)

FAX用参加申込書 申込締切: 11/23(金)※手話通訳を希望の方は11/16(金)

当日手話通訳が必要な方は
チェックしてください。

☐ 必要

フリガナ	○で囲む	所属/役職	電 話
氏 名	学生・一般		F A X (必須)
フリガナ	○で囲む	所属/役職	電 話
氏 名	学生・一般		F A X (必須)
フリガナ	○で囲む	所属/役職	電 話
氏 名	学生・一般		F A X (必須)

事務局記入欄	受付が完了致しました。当日は本紙をご持参ください。	受付NO	受領印
--------	---------------------------	------	-----

【個人情報の取扱いについて】

1. 事業者の名称: 株式会社マルト(イベント事務局運営) 2. 個人情報保護管理者: 株式会社マルト 個人情報保護管理者 3. 利用目的: イベントの申込者管理、参加者等の送付 4. 第三者提供について: 頂いた個人情報を第三者に提供することはありません。 5. 3. の利用目的を達成するため、個人情報の取扱いを委託する場合があります。 6. 開示等のご請求については7. 問合せ先にご連絡下さい。 7. 問合せ先 〒105-0012 東京都港区芝大門 2-11-5 美和ビル 2F TEL03-5776-0376 FAX03-5776-0379 株式会社マルト 個人情報問合せ窓口 8. 本人が個人情報を与えることの任意性及び当該情報を与えなかった場合に本人に生じる結果: 個人情報の提供は任意ですが、不備があった場合参加証等のご連絡ができない場合があります。